

2013 連合 全国セーフティネットワーク集会参加報告



主催者挨拶 南雲事務局長



宮野 勘一 厚生労働省労働基準局安全衛生部長



独立行政法人 労働者健康福祉機構 古山 善一

日 時：2013年6月3日（月）13：30～

場 所：東京ドームホテル B1F「オーラル」

参加者：各構成組織・地方連合・連合本部 60名

次 第

主催者挨拶： 南雲 弘行 連合事務局長

1. 第12次労働災害防止計画について

厚生労働省安全衛生部 宮野甚一 部長

2. 連合驚どう安全衛生取り組み指針について

新谷 信幸 連合総合労働局長

3. 労働災害の防止に向けた労働組合としての主体的な取り組みについて

基調講演：

「職場の労働安全衛生活動にあつたての労働組合への期待」

独立行政法人 労働者健康福祉機構

古山 善一 産業保険相談員

パネルディスカッション

内容：

政府の第12次労働災害防止計画が、2013年4月からスタートしている。地方労働局と労働基準監督署は、担当地域の実態に合わせた改善目標を作成し、各事業者を指導することになる。労働災害を防止するためには、政府・事業者・労働者がそれぞれの役割を果たすことが重要であり。事業者は、安全衛生関係法令の最低基準を厳守するだけでなく、自主的な安全衛生活動を積極的に展開し、職場内のリスクを低減しなければならない。また、労働組合は、労働者が健康に働き続けるため、事業所の安全衛生水準の向上と地域社会全体の安全文化の向上に努めなければならないという内容の基調講演であった。